

第3回 学校運営協議会先進地視察



7月31日(月) コミュニティスクールを先進的・積極的に行っている町を視察しました。

「厚真町」は人口4,333人と奈井江町と同じ規模の町ですが、こども園と小中学校が各2校あります。

「あつまるねっと」という仕組みでは、学びと育ちを応援する方たちが集まり、授業サポートや学習支援サポート、趣味特技を生かして、地域の先生、職業体験、ちょこっとお手伝い等の活動を行っています。

「安平町」は人口7,345人で、H25年に北海道の町村で初となるコミュニティスクールのモデル校を追分小学校に設置した町です。

また今年度「早来学園」という早来地区の小中義務教育学校を開校し、隣接した早来こども園(学校法人)との連携もしています。学校内の図書室、キッチン(調理室)、アトリエ(美術室)、アリーナ(体育館)、ステージ(音楽室)を「まなびお」として授業中でも空いていれば誰でも利用でき、地域の方も学べる場となっています。



これまでの組織との違いは？

これまでも「教育推進会議・学校関係者評価委員」などの組織がありました。それらの組織と違う点は、

- 決めることができます。これまでの制度は委員が個人の意見を述べ、アドバイスするというものでした。しかし学校運営協議会は、協議会としての結論を皆で話し合っ決めて決めることができます。いわゆる「合議制」の組織です。
- 委員の位置づけが違います。委員は地方公務員法における特別職になりますから、秘密を守る「守秘義務」などが規定されています。

どんな人が委員に委嘱されてるの？

奈井江町は、15人以内となっていて、教育委員会から委嘱されています。

委員は、小中学校の教頭各1名、小中学校の保護者より4名、幼小中高の連携として、こども園所長、奈井江商業高校長、学校に関わる者として農業関連団体、商工会、福祉関連団体、町内企業、地域住民、民生(児童)委員各1名、コーディネーター1名の15名となっています。

こんな活動しました

7/2 (日) ふれあい祭りで
奈中吹奏楽部が演奏

演



4年ぶりの「ふれあい祭り」に奈中吹奏楽部が参加しました。直前までパラパラ雨が降っていたので、文化ホール内での演奏でしたが、大勢の町民の方に聴いていただきました。

7/7 (金) メロン選果場・浄水場見学

貝

小学3年生が、地元特産の「北海キングメロン」の出荷工程を学ばず食育活動の一環で毎年行われています。メロンの生育や検定方法、出荷までの苦勞や美味しいメロンができるコツについてお話を聞いたり、質問したり、出荷する箱のパフレット詰めもしました。小学4年生は、中空知広域水道企業団で浄水場の見学。おいしいきれいな水のできるまでの説明を受けました。



異

鴻池さんの異文化学習

7/12 (水) 中学校・7/14 (金) 小学校

奈井江町出身者で、現在アメリカインディア州に住んでいる鴻池淑子さんが、中学校（全学年）と小学校（4・5・6年生）で、外国の文化、食べ物、個人主義・グループ主義の違いについて説明し、間違いから成長すること、一步を踏み出す勇氣など、生きていくうえで大切なことのお話を聞きました

7/13 (水) 奈小6年 奈中授業体験へ

半年後の中学校へのスムーズな進学に向け、中学校を訪問。社会の授業を一緒に受け、修学旅行体験発表を見学し、「中学校って、こんな風になっているんだ」「授業は、こうやってやるんだ」と、間近で中学校生活をイメージし、期待を胸に膨らませていました。

進



語

7/21 (金) 町長と語る会 (奈小5・6年生)

「ゆめぴりか」「北海キングメロン」「にわ山自然公園」「コンチェルトホール」「備中神楽」の5つのテーマで、新商品(メロンパフェ、メロン大福、メロンクリームフロート、ボールペン等)やマスコットキャラクター。備中神楽を大勢の人に知ってもらう。文化ホールのピアノを町民に5分無料で弾いてもらうなどのイベントについて三本英司町長に提案を行いました。

